

人文学部人文学科 哲学・芸術論コース カリキュラム・マップ

DP1

DP2

DP3

授業×DP寄与度
矢印の太線、中線、
細線の3段階設定

4年次

3年次

2年次

1年次

専門基礎系

基盤系
教養系

【導入1】
新入生ゼミナール
【導入2】
人文科学通論Ⅰ～Ⅱ

哲学・思想論概論Ⅰ～Ⅱ
芸術コミュニケーション
概論Ⅰ～Ⅱ

【基幹1】
哲学・思想論特論Ⅰ～Ⅻ
芸術コミュニケーション
特論Ⅰ～Ⅹ
【基幹2】
哲学・思想論基幹演習
Ⅰ～Ⅸ
芸術コミュニケーション
基幹演習Ⅰ～Ⅸ

哲学・思想論発展演習
Ⅰ～Ⅻ
芸術コミュニケーション
発展演習Ⅰ～Ⅸ

卒業論文

【自由1】
広域履修プログラム
【自由2】
特別選択科目・他コース
の専門科目
必要単位数を超えて修得
した科目
【自由3】
他学部専門科目等

共通教育科目

導入

基礎

基幹

発展

探究

自由

【信州大学人文学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由）によって段階的に構成します。

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目（新入生ゼミナール・人文科学通論）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確にし、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通じて、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

人文学部人文学科 文化情報論・社会学コース カリキュラム・マップ

DP1

DP2

DP3

授業×DP寄与度
矢印の太線、中線、
細線の3段階設定

4年次

3年次

2年次

1年次

専門基礎系

基盤系
教養系

共通教育科目

導入

基礎

基幹

発展

探究

自由

【導入1】
新入生ゼミナール
【導入2】
人文科学通論Ⅰ～Ⅱ

文化情報論概論Ⅰ～Ⅱ
社会学概論Ⅰ～Ⅱ

【基幹1】
文化情報論特論Ⅰ～Ⅱ
(心理学統計法)
文化情報論特論Ⅲ～Ⅳ
社会学特論Ⅰ～Ⅵ
【基幹2】
文化情報論基礎実習Ⅰ～Ⅱ
文化情報論基幹演習Ⅰ～Ⅵ
社会学基礎実習Ⅰ～Ⅱ
社会学基幹演習Ⅰ～Ⅳ

文化情報論応用実習Ⅰ～Ⅱ
文化情報論発展演習Ⅰ～Ⅱ
社会学発展演習Ⅰ～Ⅵ
社会調査実習Ⅰ～Ⅱ

卒業論文

【自由1】
広域履修プログラム
【自由2】
特別選択科目・他コース
の専門科目
必要単位数を超えて修得
した科目
【自由3】
他学部専門科目等

【信州大学人文学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由）によって段階的に構成します。

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目（新入生ゼミナール・人文科学通論）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確にし、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通じて、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

人文学部人文学科 心理学・社会心理学コース カリキュラム・マップ

DP1

DP2

DP3

授業×DP寄与度
矢印の太線、中線、
細線の3段階設定

4年次

3年次

2年次

1年次

専門基礎系

基盤系
教養系

【導入1】
新入生ゼミナール
【導入2】
人文科学通論Ⅰ～Ⅱ

心理学概論Ⅰ～Ⅱ
社会心理学概論
(社会・集団・家族
心理学)
社会心理学概論Ⅱ

【基幹1】
心理学基礎実験Ⅰ
心理学基礎実験Ⅱ
(心理的アセスメント)
【基幹2】
心理学基幹演習Ⅰ～Ⅱ
社会心理学基幹演習Ⅰ～Ⅱ
社会心理学特論 神経・生理心理学
感情・人格心理学 知覚・認知心理学
心理学研究法 教育・学校心理学
心理学的支援法
【基幹3】
公認心理師の職責 司法・犯罪心理学
福祉心理学 学習・言語心理学
健康・医療心理学 産業・組織心理学

【発展1】
心理学特殊実験Ⅰ
(心理学実験)
心理学特殊実験Ⅱ
【発展2】
心理学発展演習Ⅰ～Ⅱ
社会心理学発展演習Ⅰ～Ⅱ
【発展3】
心理実習Ⅰ(心理実習)
心理実習Ⅱ(心理実習)
心理実習Ⅲ(心理実習)
心理演習

卒業論文

【自由1】
広域履修プログラム
【自由2】
特別選択科目・他コース
の専門科目
必要単位数を超えて修得
した科目
【自由3】
他学部専門科目等

共通教育科目

導入

基礎

基幹

発展

探究

自由

【信州大学人文学部 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

本学部では、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群(1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由)によって段階的に構成します。

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目(新入生ゼミナール・人文科学通論)と1つの履修プログラム(広域履修プログラム)を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確にし、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通じて、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

人文学部人文学科 歴史学コース カリキュラム・マップ

DP1

DP2

DP3

授業×DP寄与度
矢印の太線、中線、
細線の3段階設定

4年次

3年次

2年次

1年次

専門基礎系

基盤系
教養系

【導入1】
新入生ゼミナール
【導入2】
人文科学通論Ⅰ～Ⅱ

日本史概論Ⅰ～Ⅱ
東洋史概論Ⅰ～Ⅱ
西洋史概論Ⅰ～Ⅱ

【基幹1】
日本史特論Ⅰ～Ⅴ
東洋史特論Ⅰ～Ⅴ
西洋史特論Ⅰ～Ⅴ
【基幹2】
歴史学方法論基幹演習
Ⅰ～Ⅱ
日本史基幹演習Ⅰ～Ⅵ
東洋史基幹演習Ⅰ～Ⅵ
西洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ

日本史発展演習Ⅰ～Ⅵ
東洋史発展演習Ⅰ～Ⅵ
西洋史発展演習Ⅰ～Ⅳ

卒業論文

【自由1】
広域履修プログラム
【自由2】
特別選択科目・他コース
の専門科目
必要単位数を超えて修得
した科目
【自由3】
他学部専門科目等

共通教育科目

導入

基礎

基幹

発展

探究

自由

【信州大学人文学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由）によって段階的に構成します。

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目（新入生ゼミナール・人文科学通論）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確にし、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通じて、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

人文学部人文学科 比較言語文化コース カリキュラム・マップ

DP1

DP2

DP3

授業×DP寄与度
矢印の太線、中線、
細線の3段階設定

4年次

3年次

2年次

1年次

専門基礎系

基盤系
教養系

共通教育科目

導入

基礎

基幹

発展

探究

自由

【導入1】
新入生ゼミナール
【導入2】
人文科学通論Ⅰ～Ⅱ

比較文学概論Ⅰ～Ⅱ
中国語学概論Ⅰ～Ⅱ
中国文学概論Ⅰ～Ⅱ
ドイツ言語文化概論
Ⅰ～Ⅱ
フランス言語文化概論
Ⅰ～Ⅱ

【基幹1】
比較文学特論Ⅰ～Ⅵ
中国語学・中国文学特論Ⅰ～Ⅵ
ドイツ言語文化特論Ⅰ～Ⅷ
フランス言語文化特論Ⅰ～Ⅵ
【基幹2】
比較文学基幹演習Ⅰ～Ⅳ
中国語学・中国文学基幹演習
Ⅰ～Ⅵ
ドイツ言語文化基幹演習Ⅰ～Ⅷ
フランス言語文化基幹演習Ⅰ～Ⅳ

比較文学発展演習Ⅰ～Ⅵ
中国語学・中国文学発展
演習Ⅰ～Ⅵ
ドイツ言語文化発展演習
Ⅰ～Ⅷ
フランス言語文化発展演習
Ⅰ～Ⅵ

卒業論文

【自由1】
広域履修プログラム
【自由2】
特別選択科目・他コース
の専門科目
必要単位数を超えて修得
した科目
【自由3】
他学部専門科目等

【信州大学人文学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由）によって段階的に構成します。

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目（新入生ゼミナール・人文科学通論）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確にし、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通じて、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

人文学部人文学科 英米言語文化コース カリキュラム・マップ

DP1

DP2

DP3

授業×DP寄与度
矢印の太線、中線、
細線の3段階設定

4年次

3年次

2年次

1年次

専門基礎系

基盤系
教養系

共通教育科目

【導入1】
新入生ゼミナール
【導入2】
人文科学通論Ⅰ～Ⅱ

導入

英語学概論Ⅰ～Ⅱ
英語文学概論Ⅰ～Ⅱ

基礎

【基幹1】
英語史Ⅰ～Ⅱ
英語学特論Ⅰ～Ⅵ
英語文学特論Ⅰ～Ⅻ
【基幹2】
英語学基幹演習Ⅰ～Ⅷ
英語文学基幹演習Ⅰ～Ⅷ

基幹

英語学発展演習Ⅰ～Ⅷ
英語文学発展演習Ⅰ～Ⅷ

発展

卒業論文

探究

【自由1】
広域履修プログラム
【自由2】
特別選択科目・他コース
の専門科目
必要単位数を超えて修得
した科目
【自由3】
他学部専門科目等

自由

【信州大学人文学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由）によって段階的に構成します。

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目（新入生ゼミナール・人文科学通論）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確にし、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通じて、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

人文学部人文学科 日本言語文化コース カリキュラム・マップ

DP1

DP2

DP3

授業×DP寄与度
矢印の太線、中線、
細線の3段階設定

4年次

3年次

2年次

1年次

専門基礎系

基盤系
教養系

【導入1】
新入生ゼミナール
【導入2】
人文科学通論Ⅰ～Ⅱ

日本文学概論Ⅰ～Ⅱ
日本文学史Ⅰ～Ⅱ
日本語学概論Ⅰ～Ⅱ
日本語史Ⅰ～Ⅱ
日本語教育学概論Ⅰ～Ⅱ

【基幹1】
日本文学特論Ⅰ～Ⅵ
日本語学特論Ⅰ～Ⅵ
日本語教育学特論Ⅰ～Ⅵ
【基幹2】
日本文学基幹演習Ⅰ～Ⅵ
日本語学基幹演習Ⅰ～Ⅵ
日本語教育学基幹演習Ⅰ～Ⅵ

日本文学発展演習Ⅰ～Ⅵ
日本語学発展演習Ⅰ～Ⅵ
日本語教育学発展演習Ⅰ～Ⅵ
日本語教育実習

卒業論文

【自由1】
広域履修プログラム
【自由2】
特別選択科目・他コース
の専門科目
必要単位数を超えて修得
した科目
【自由3】
他学部専門科目等

共通教育科目

導入

基礎

基幹

発展

探究

自由

【信州大学人文学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由）によって段階的に構成します。

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目（新入生ゼミナール・人文科学通論）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確にし、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通じて、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。